



実行委員会に「おじゃましてきました」

ちょっと



アイレック実行委員会のようす

今年で19回目を迎える「アイレックまつり」。毎年秋、男女共同参画センター（愛称：アイレック）の開設記念事業として開催されています。そのまつりを企画、運営するのが「アイレックまつり実行委員会」です。

実行委員会に参加させていただき、女性が活躍していることに驚きました。14人中10人が女性、委員長と、副委員長2人のうち1人が女性です。年代もさまざまで、20から80歳代と幅広い層の方々が構成されています。

また席が円形に置かれており、役割に関係なく平等に自由に発言できる配置になっていて、まさに男女平等そのものだと感じました。

2014(第19回) アイレックまつり (予定)

10月11日(土)	午前10時～12時 アミューホール (アミュービル7階)	【映画】 おじいさんと草原の小学校 イギリス / 2010年 / 103分
	午後2時～4時 アイレック会議室 (アミュービル4階)	「清瀬市議会議員が語るシンポジウム」 ～どう広げるか男女平等推進条例と 子どものためのガイドブック～ コーディネーター：名取はにわさん (元内閣府男女共同参画局長)
10月12日(日)	午前10時～12時 アイレック会議室 (アミュービル4階)	【みんなのしゃべり場】 ファシリテーター：村上誠さん (NPO 法人ファザーリング・ジャパン理事)
	午後2時～4時 アミューホール (アミュービル7階)	【講演会】 聞き書きから知る女性史 ～サンダカン八番娼館から41年～ 講師：山崎朋子さん (女性史研究者)
	午後5時～ (アミュービル4階)	【音楽】 フォルクローレ 演奏：コラソン・デ・まつぼっくりさん

会議が始まると委員のみなさんの「アツい思い」に圧倒されます。一人でも多くの方にアイレックの存在を知ってもらいたい、世代を超えて人々がつながる手伝いをしたい、役立つ情報を発信したい、そしてまつりを楽しんでもらいたい、ぶれない軸の太さを感じました。

会議は一人ひとりの発言を尊重し、笑いもあり、快活に議論する爽快感であふれています。ゼロからスタートして手探りで企画を考えることは並大抵な事ではありません。月に1、2回、2時間程度の会議を重ね、想いをカタチにしていきます。

企画から、講師の選択、チラシ作成、ポスターの市内掲示板への掲示。まつり終了後には記録集作成のため

め、企画講座のテープ起こしから原稿執筆、編集も行っています。まつりに関する全てを委員会が中心となっていて行っているのです。本当に、自分たちで作る自分たちのまつりという責任感と自信にあふれているのだと感じました。

委員の意図や想いを心に刻み、アイレックの存在の意味を改めて考えながら、友人を誘って、まつりに参加してみたいと思いました。

アンケートに答えることもひとつの参画。その意見が次の発展につながり、実行委員のやる気と励みになるのだと思います。皆さんも率直なご意見でぜひ参画してみませんか。

(河原)

実行委員長 池田いづみさんに聞きました

(聞き手 野口)



池田いづみさん

「アイレックまつり」は実行委員会形式で行われています。1回目から、それぞれが持っている想いを大切に、テーマや内容を話し合いながら決めていく過程を大事にやってきました。委員を経験するなかで、男女平等の視点が広がり、アイレックの必要性がわかっていただけると、この実行委員会は成功ではないかと思えます。

この経験を活かして、社会に羽ばたき、さまざまな場で活動を広げる。また、かつて実行委員だった方々が、当日手を差し伸べて手伝ってくださる。そのような何気ない動きがありがたいし、世代を越えたいろいろな出会いにつながっていくのだと感じています。

どなたでも実行委員として参加しやすいように、無料で保育がつかますので、お子さんがいらっしやる方にも経験してみただけだとは思いません。「まつり」も実行委員会も、アイレックのキャッチフレーズ「手を組めば、新しい風」の場そのものではないかと思っています。